

株主の皆様へ

JR-West's Business Report

第31期 中間事業報告

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日



西日本旅客鉄道株式会社

株主の皆様へ

平素は、JR西日本グループの事業運営にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2005年4月25日に福知山線列車事故を惹き起こした責任と重大性を重く受け止め、安全で安心・信頼していただける鉄道を築き上げることに、グループを挙げて役員・社員が一丸となって取り組んでおります。今後も事故に真摯に向き合い、安全な鉄道を築き上げるべく、私をはじめ社員一人ひとりが日々の業務の中で一層の努力を積み重ねてまいります。

当社グループは2017年4月に会社発足30周年を迎えることができました。これは、ひとえに株主様、お客様、地域の皆様をはじめ関係の方々のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

会社発足以降、当社グループは鉄道事業において安全で快適な輸送サービスの提供等に努めるとともに、新規事業の創造等、非鉄道事業の拡大にも力を注いでまいりました。

2013年3月には「JR西日本グループ中期経営計画2017」と「安全考動計画2017」を策定し、「めざす未来～ありたい姿～」の実現に向け、3つの基本戦略と4つの事業戦略からなる重点戦略を推進しております。今年度は本計画の最終年度であり、目標の達成に向けて引き続き取り組むとともに、経営環境の変化や本計画における取り組みと成果を踏まえて、新たな中期経営計画や安全計画の策定を進めてまいります。

今後も、グループ全体でこれまでの取り組みを着実に継続するとともに、大胆に進化させていくことにより、中長期的な視点から、安全性向上と企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月



代表取締役社長 来島達夫

事業の経過及び成果

①全般の状況



当社は、2005年4月25日、福知山線塚口駅～尼崎駅間において、106名のお客様の尊い命を奪い、500名を超えるお客様を負傷させるという、極めて重大な事故を惹き起こしました。改めて、お亡くなりになられた方々、ご遺族の皆様、お怪我をされた方々とご家族の皆様へ深くお詫び申し上げます。引き続き被害に遭われた方々へ真摯に向き合い対応するとともに、安全性の向上に向け、弛まぬ努力を積み重ねてまいります。

当社グループは、「JR西日本グループ中期経営計画2017」とその中核をなす「安全考動計画2017」のもと、中長期的な企業価値向上に向けて、各種施策を着実に推進してまいりました。

対抗輸送機関との競合の激化、自然災害の激甚化等、厳しい経営環境が続いておりますが、同計画の最終年度である本年度を「これまでの成果にさらに磨きをかけ、目標を達成する年」と位置付け、目標達成に向けてグループ一丸となって取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、運輸収入については昨年4月に発生した熊本地震の反動に加え、緩やかな景気拡大を背景に多客期等のご利用が好調だったことにより増収となり、流通業、不動産業も堅調に推移いたしました。その結果、営業収益は前年同期比3.8%増の7,271億円、営業利益は同13.1%増の1,112億円、経常利益は同16.0%増の1,026億円、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は同18.8%増の678億円となりました。

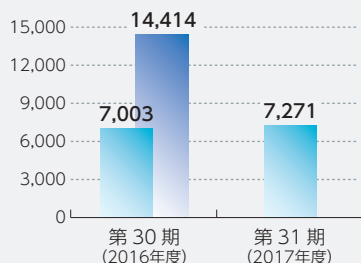
このほか、なにわ筋線の整備に向けた関係機関・各社との協議を進めてまいりました。

また、新たな事業分野へのチャレンジとして、(株)JR西日本キャリアによるシニア層の人材派遣・紹介事業等に取り組みました。

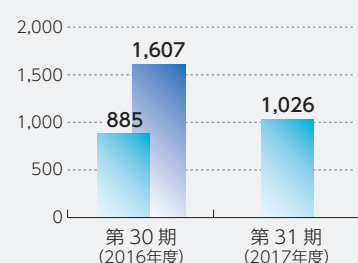
引き続き、次期計画期間を見据え、中長期的な成長に向けた取り組みを推進してまいります。

全般の状況

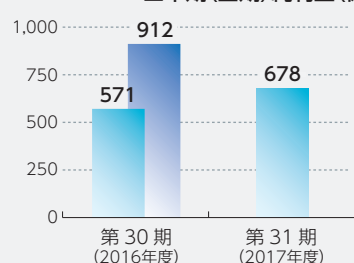
営業収益(億円)



経常利益(億円)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益(億円)



②セグメント別の状況

運輸業

営業収益 4,727 億円
(前年同期比2.4%増)

営業利益 835 億円
(前年同期比12.1%増)

【安全性向上等】

最重要戦略である「安全」については、リスクアセスメントを通じたハード・ソフト両面からの対策等により、安全考動計画に掲げた取り組みは概ね順調に推移しており、安全関連投資も計画どおり着実に進捗しております。このうち、お客様の安全に特に関係するホームの安全性向上については、乗降10万人以上の駅等におけるホーム柵の整備等を引き続き進めました。また、激甚化する自然災害への対処として、地震津波対策や豪雨対策等を推進いたしました。

2015年度より導入した安全管理体制に対する第三者評価については、2016年度の評価結果を6月に受領いたしました。新規にいただいた助言も含めて改善の完了に向け、当社に適する形で改善を進め、安全管理体制のさらなるレベルアップを図ってまいります。

さらに、「安全」を支える「技術」の取り組みとして、安全性と作業効率の向上に向けた新たな技術の開発に取り組みました。

なお、車両部品に使用されている材料の品質データ書き換え問題については、引き続き製造元の調査結果等を踏まえて適切に対処してまいります。

(主な具体的取り組み)

ア. ホームの安全性向上

- ・ホーム柵の整備推進（大阪駅6・7番のりば（4・5月））
- ・ホーム上の異常を駅係員に知らせる遠隔セキュリティカメラの整備推進（天王寺駅、鶴橋駅（いずれも4月））
- ・安全な介助技術等を身に付けるための「サービス介助士」資格の取得推進

イ. 自然災害への対処

- ・山陽新幹線における逸脱防止ガードの整備推進
- ・紀勢線の津波対策として乗務員へのVR（ヴァーチャル・リアリティ）教材の製作、導入
- ・斜面の補強、排水設備の整備等、斜面防災工事の推進
- ・雨量、風速、震度等を一元的に管理する「気象災害対応システム」の整備推進

ホームの安全対策

当社では、安全考動計画の中で「ホームにおける鉄道人身障害事故3割減」という目標を掲げ、ハード面の対策とソフト面の対策を進めております。ハード面の対策として、「ホーム柵」「遠隔セキュリティカメラ」の整備を進めるとともに、ホームベンチを線路に対して垂直に設置するなど、独自の取り組みを進めております。ソフト面の対策としては、駅係員やお客様による目の不自由なお客様への声掛けや、駅係員を対象に「サービス介助士」の資格取得を進めております。引き続き、お客様に安心してご利用いただくための取り組みを推進してまいります。



大阪駅ホーム柵



ホームベンチ設置方法の工夫

ウ. 「安全」を支える「技術」の取り組み

- ・係員が目視で行っている検査を車上装置で行う「線路設備診断システム」の開発（9月試行導入）
- ・電柱建替作業を効率化する「電柱ハンドリング車」の開発（10月以降導入）

【営業施策等】

営業施策等については、CS（お客様満足）をグループ中期経営計画の基本戦略の一つに位置付け、お客様の多様なニーズにお応えする施策を推進しながら、ビジネス・観光需要の獲得、創出に取り組んでおります。

新幹線については、新チケットレスサービス（「スマートEX」）の開始等、利便性向上を図るとともに、近畿エリアでの線区価値向上、西日本各エリア等における地域と連携した観光誘客を進めてまいりました。さらに、訪日観光客の受け入れ態勢の整備やシニア向け会員組織（おとなび）の魅力向上に取り組みました。

加えて、「ICOCA」のさらなる利用拡大に向けて、ポイントサービスの導入等の施策を推進してまいります。
（主な具体的取り組み）

ア. CS

- ・ホームページでの「列車走行位置」情報のサービス開始（4月）
- ・お客様へのご案内充実推進（駅係員のタブレット端末の機能強化・増備（6月））
- ・チャットによるお忘れ物対応窓口の試験設置（8月）

イ. 新幹線

- ・山陽新幹線での新ATCの整備完了及び「こだま」等の時間短縮等のダイヤ改正実施（3月）
- ・「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーンの開催（4～11月）
- ・コンビニ等における「e5489」決済サービスの開始（5月）
- ・「スマートEX」サービスの開始（9月）

ウ. 近畿エリア

- ・大阪環状線への新型車両「323系」の導入推進
- ・京都鉄道博物館グランドオープン1周年キャンペーンの開催（3～5月）
- ・駅のリニューアル工事開始（京橋駅（8月）、玉造駅（9月））

エ. 西日本各エリア

- ・「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」運行開始（6月）
- ・幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーンの開催（9～12月）
- ・「JR西日本30周年記念乗り放題きっぷ」の発売（9月）

オ. 訪日観光客需要の獲得

- ・関西空港駅の販売窓口拡大、「トラベルサービスセンター大阪」の開業（いずれも3月）

カ. シニア需要の創出

- ・「おとなび」会員100万人突破に伴う会員向けイベントの開催（「京都鉄道博物館」貸切イベント（8月）等）

バス事業、船舶事業（宮島航路）については、安全輸送を基本とし、お客様のご利用に応じた輸送改善等の実施により、利便性向上に努めました。

これらの取り組みに加え、昨年4月に発生した熊本地震の反動や、緩やかな景気拡大を背景に多客期等のご利用が好調だったことにより、運輸業セグメントの営業収益は前年同期比2.4%増の4,727億円、営業利益は同12.1%増の835億円となりました。

なお、2018年4月に廃止を予定している三江線（江津駅～三次駅間）については、新たな地域交通の構築に向け、地元の皆様とともに引き続き検討を行ってまいります。

訪日観光客向けのサービスを充実

当社では、訪日観光客に安心してスムーズにご旅行いただけるよう、「商品の拡充等による広域観光ルートの開発・整備」「ご利用が多いターミナル駅、商業施設等の受け入れ態勢の充実」「グループ全体やターミナル駅周辺も含めた『まち』の魅力のこれまで以上の発信」を柱としてさまざまなサービス充実に向けた取り組みを行っております。

1 訪日観光客向け商品の拡充等による広域観光ルートの開発・整備

- 地域やJR他社、グループ会社と連携し、より西日本を広域に利用していただけるよう、各国、地域のニーズを踏まえ、魅力ある訪日観光客向け専用商品を新設、充実
- 地方空港から西日本エリアを周遊していただけるよう、博多からご利用いただける「岡山・広島・山口エリアパス」やJR九州と連携した「山陽・山陰・北部九州パス」の発売を4月に開始
- 特色あるテーマ性商品として、国内旅行のお客様にご好評をいただいている「名探偵コナン ミステリーツアー」を訪日観光客向けにも展開し、「幕末維新やまぐちステーションキャンペーン」に合わせて山口県で展開
- 関西エリアでは、全国に先駆け、関西エリアの財界及び交通事業者が連携し、関西エリアの鉄道やバスを1枚のICカードで利用できる「関西ワンパス」を発売



©Tezuka Productions

今後も、地域の皆様にご協力をいただきながら、訪日観光客向け商品のブラッシュアップを図り、広域周遊をさらに促進してまいります。

2 訪日観光客のご利用が多いターミナル駅、商業施設等の受け入れ態勢の充実

- 増加する訪日観光客が旅先でスムーズに移動していただけるよう、多言語化、通信環境や手ぶら観光窓口の整備、免税対応の拡大を推進

- 拠点駅では、3月に当社管内の玄関口である関西空港駅で窓口や券売機の拡大、ワンフロア化を実施。また、大阪駅において案内に加えてチケット販売や宿泊予約、外貨両替、荷物一時預かり等海外からのお客様が求めるサービスをワンストップで提供する「トラベルサービスセンター大阪」を大阪府、大阪観光局と連携して開設
- 百貨店やショッピングセンターでは、ホームページ等の多言語化や免税対応を拡大しているほか、4月からは手ぶら観光の推進を目的として、関西空港駅～京都市内間で当日キャリーサービスの実証実験を開始するなど、JR西日本グループが一体となった取り組みを推進



おもてなしステーション

新たな技術を活用しながら受け入れ態勢の整備をさらに推進するとともに、海外からのネット予約の充実等、販売体制の充実も図ってまいります。

3 グループ全体やターミナル駅周辺も含めた『まち』の魅力のこれまで以上の発信

- 当社の取り組みを効果的に海外で告知できるよう、積極的なプロモーションを実施し、グループ会社と連携した専用サイト「Shopping & Gourmet Guide」での情報発信、地域と連携した旅行業者対象のツアーの実施、雑誌やテレビ等のメディアでの告知と、世界各地で開催される旅行博覧会にも積極的に出展
- 中国や台湾等の現地SNSを活用した情報発信を強化し、数万人のフォロワーを獲得
- 東アジアの重点セールス先の韓国、台湾において、現地旅行会社に対するセールスプロモーションや情報発信を行うため、現地のプロモーション会社と契約し、専任者を配置



これまでのアジア主要市場に加え、今後高い成長が見込まれるエリアへプロモーションを拡大するとともに、効果的な媒体や手法等内容の充実を図ってまいります。

2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズゲームズ等の来たるビッグイベントに向けて、鉄道事業の安全性向上を基盤としながらより質の高いサービスを提供することで、訪日観光客のさらなる獲得を図ってまいります。

流通業

営業収益 1,175 億円
(前年同期比2.3%増)

営業利益 33 億円
(前年同期比31.9%増)

流通業における成長施策として、2014年度より、従来のコンビニエンスストア「ハートイン」等を㈱セブン-イレブン・ジャパン（SEJ）との提携店舗へ転換するとともに、新規出店を行う施策を進めており、当第2四半期連結累計期間においても11店舗の転換・新規出店を実施いたしました。

また、6月には駅改良とともにショッピングセンター等の整備を進めている広島駅に「アントレマルシェ」を開業いたしました。このほか、市中への店舗展開も進めており、7月には「からふね屋CAFE」をあべのキューズモールに開業いたしました。

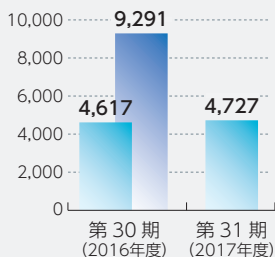
百貨店においては、訪日観光客需要の獲得や京都駅ビル20周年を活用した施策の展開等に取り組みました。

さらに、流通業セグメントに区分される宿泊特化型ホテルについては、4月に「ヴィアインあべの天王寺」、8月に「ヴィアイン梅田」を開業いたしました。

その結果、流通業セグメントにおいては、SEJ提携店舗をはじめとする物販・飲食業の売上げが堅調に推移し、営業収益は前年同期比2.3%増の1,175億円、営業利益は同31.9%増の33億円となりました。

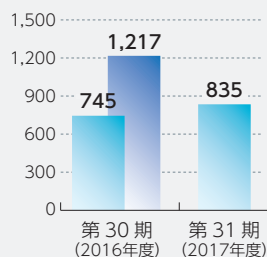
運輸業

営業収益(億円)



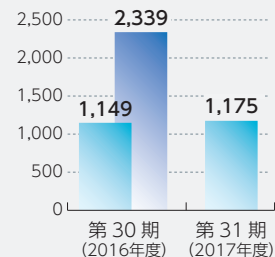
第2四半期(累計) 通期

営業利益(億円)



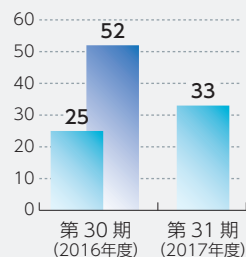
流通業

営業収益(億円)



第2四半期(累計) 通期

営業利益(億円)



不動産業

営業収益 687 億円
(前年同期比36.3%増)

営業利益 198 億円
(前年同期比18.1%増)

不動産業は当社グループの保有資産を活用し、お客様の利便性向上や沿線価値向上につながる鉄道事業と親和性の高い事業と捉えて、ショッピングセンター（SC）の開発・運営や住宅分譲をはじめとする販売事業等を進めております。

加えて、当社鉄道の沿線外及びエリア外の有望市場へも展開し、販売事業の拡大と賃貸事業の強化に取り組んでおり、2月には、首都圏をはじめとする有望市場において賃貸物件等を保有する菱重プロパティーズ㈱を連結子会社化いたしました。同社が保有する不動産について、当社グループのノウハウも活用しながら、販売事業の拡大と賃貸事業の強化を図ってまいります。

SCについては、「LUCUA osaka」において、9月に「LUCUA1100」地下1階フロアが全面開業し、残る地下2階フロアについても引き続きリニューアルを進めております。また、8月には「アルデ新大阪」のリニューアルが完了し、グランドオープンを迎えました。

その結果、不動産業セグメントにおいては、菱重プロパティーズ(株)の連結子会社化及びJR西日本不動産開発(株)を含めた販売・賃貸事業の堅調な推移により、営業収益は前年同期比36.3%増の687億円、営業利益は同18.1%増の198億円となりました。

その他

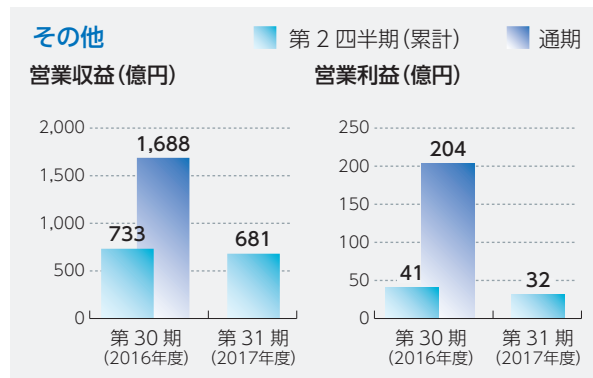
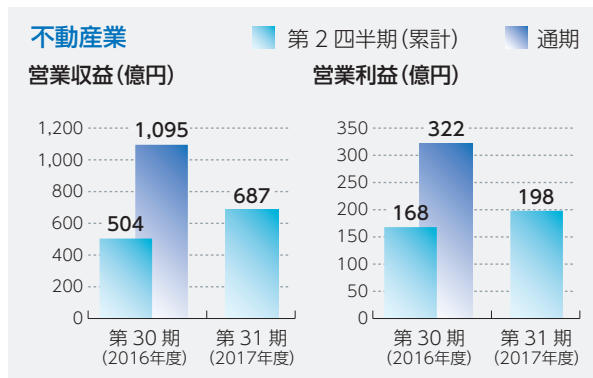
営業収益 **681** 億円
(前年同期比7.0%減)

営業利益 **32** 億円
(前年同期比22.4%減)

ホテル業については、堅調な宿泊需要とお客様の多様なニーズに対応するため、ハイクラス宿泊主体型ホテル「ホテルヴィスキオ」を大阪、京都に、上質カプセルホテル「ファーストキャビンステーション」を天王寺、和歌山に、それぞれ開業する準備を進めました。従来から展開する「ホテルグランヴィア」をはじめとするシティホテルや、宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」とあわせて、多様なブランド構成で沿線外及びエリア外も含めて展開してまいります。

旅行業については、訪日観光客への営業展開を強化するとともに、法人営業における受注拡大、WEB専用商品をはじめとする個人向け商品の販売拡大等に取り組みしました。

その結果、その他セグメントにおいては、ホテル業において前年同期並みにご利用いただくとともに、旅行業において訪日観光客のご利用が増加いたしました。工事業における受注減少等により、営業収益は前年同期比7.0%減の681億円、営業利益は同22.4%減の32億円となりました。



当社グループのホテル展開

当社グループは、グループ中期経営計画において、生活関連サービス事業を拡大し、快適な暮らしの実現をサポートすることを重点戦略の1つとして掲げ、駅立地に加え、エリア外を含めた市中への宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の積極展開を進めているところです。

本年4月には「ヴィアインあべの天王寺」が、8月には「ヴィアイン梅田」が開業し、ヴィアインホテルチェーンは全19棟となりました。今後の「ヴィアイン」の展開につきましては、2018年には新大阪、名古屋、東京飯田橋の3棟が、2019年には九州エリア初出店となる博多をはじめ京都、心斎橋、東京日本橋の4棟が開業する予定です。

さらに当社グループの新たなホテル業態・ブランドとして、上質カプセルホテル「ファーストキャビンステーション あべの荘」が10月に開業したほか、ハイクラス宿泊主体型ホテル「ホテルヴィスキオ」が2018年に2棟開業いたします。当社グループでは今後もお客様の幅広いご利用ニーズに対応したホテルを展開してまいります。



ヴィアイン梅田



ヴィアインあべの天王寺



ファーストキャビンステーションあべの荘



ホテルヴィスキオ大阪

四半期連結貸借対照表(要旨)

(2017年9月30日現在)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間
(資産の部)	
流動資産	377,207
固定資産	2,634,384
有形固定資産	2,347,296
無形固定資産	37,125
投資その他の資産	249,961
資産合計	3,011,592
(負債の部)	
流動負債	492,124
支払手形及び買掛金	42,648
短期借入金	18,391
1年内償還予定の社債	50,000
1年内返済予定の長期借入金	28,231
鉄道施設購入未払金	1,547
未払金	53,312
未払消費税等	13,377
未払法人税等	25,370
前受運賃	43,725
前受金	42,480
賞与引当金	36,122
ポイント引当金	2,605
その他	134,311
固定負債	1,430,525
社債	504,982
長期借入金	371,174
鉄道施設購入長期末払金	105,173
繰延税金負債	3,173
新幹線鉄道大規模改修引当金	6,250
環境安全対策引当金	18,419
線区整理損失引当金	11,450
未引換商品券等引当金	2,626
退職給付に係る負債	294,570
その他	112,706
負債合計	1,922,650
(純資産の部)	
株主資本	977,523
その他の包括利益累計額	17,806
非支配株主持分	93,612
純資産合計	1,088,942
負債・純資産合計	3,011,592

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(2017年4月1日から2017年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間
営業収益	727,109
営業費	615,873
運輸業等営業費及び売上原価	520,270
販売費及び一般管理費	95,602
営業利益	111,235
営業外収益	2,611
受取利息	18
受取配当金	312
受託工事事務費戻入	97
持分法による投資利益	1,247
その他	935
営業外費用	11,147
支払利息	10,511
その他	636
経常利益	102,699
特別利益	5,149
工事負担金等受入額	3,352
その他	1,797
特別損失	6,479
工事負担金等圧縮額	3,129
その他	3,349
税金等調整前四半期純利益	101,369
法人税、住民税及び事業税	21,913
法人税等調整額	9,716
四半期純利益	69,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,894
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,844

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社役員に関する事項 (2017年9月30日現在)

取締役及び監査役

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況等
取締役会長 (取締役会議長)	真鍋 精志	
取締役	石川 正	弁護士法人大江橋法律事務所 特別顧問
取締役	佐藤友美子	追手門学院大学地域創造学部 教授、追手門学院大学成熟社会研究所長 日本放送協会経営委員会 委員
取締役	村山 裕三	同志社大学大学院ビジネス研究科 教授
取締役	齊藤 紀彦	株式会社きんでん 相談役、近畿車輛株式会社 社外取締役
取締役	宮原 秀夫	大阪大学大学院情報科学研究科 招聘教授、一般財団法人アジア太平洋研究所 理事・所長、 一般社団法人ナレッジキャピタル 代表理事、大阪瓦斯株式会社 社外取締役 日本放送協会経営委員会 委員
取締役相談役	佐々木隆之	大阪瓦斯株式会社 社外取締役
代表取締役社長 兼執行役員	来島 達夫	「経営の3本柱」に関すること
代表取締役副社長 兼執行役員	吉江 則彦	社長補佐全般、安全性向上に関すること、鉄道技術の革新に関すること、鉄道本部、安全研究所、 構造技術室、建設工事部担当
代表取締役副社長 兼執行役員	長谷川一明	社長補佐全般、創造本部担当
取締役 兼専務執行役員	二階堂暢俊	福知山線列車事故ご被害者対応本部、福知山線列車事故対策審議室、監査部、企業倫理・リスク統括部、 総務部、財務部、東京本部担当
取締役 兼専務執行役員	緒方 文人	変革の推進に関すること、総合企画本部、IT本部、秘書室、広報部、人事部担当
取締役 兼常務執行役員	平野 賀久	近畿統括本部担当
取締役 兼常務執行役員	半田 真一	安全性向上に関すること、鉄道本部安全推進部担当
常勤監査役	菊池 保孝	
常勤監査役	千代 幹也	
監査役	勝木 保美	勝木公認会計士事務所 公認会計士 住友精化株式会社 社外取締役、サカティンクス株式会社 社外取締役
監査役	筒井 義信	日本生命保険相互会社 代表取締役社長 株式会社帝国ホテル 社外取締役、パナソニック株式会社 社外取締役 株式会社三井住友フィナンシャルグループ 社外取締役

- (注) 1. 取締役石川正、佐藤友美子、村山裕三、齊藤紀彦及び宮原秀夫の5氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 常勤監査役千代幹也、監査役勝木保美及び筒井義信の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

「企業理念」・「安全憲章」

安全を最優先する企業風土の構築に向けて、当社の目指すべき姿、全社員が共有すべき価値観等を示した「企業理念」を制定し、2006年4月1日から施行しております。あわせて、最大の使命である安全の確保に向けて、社員一人ひとりが具体的に行動を起こせるよう、安全に関する具体的行動指針として「安全憲章」についても大幅な見直しを行いました。今後も引き続き、この「企業理念」「安全憲章」の具現化を図り、安全性向上、信頼回復に全力で取り組んでまいります。

JR西日本 企業理念

1. 私たちは、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げます。
2. 私たちは、鉄道事業を核に、お客様の暮らしをサポートし、将来にわたり持続的な発展を図ることにより、お客様、株主、社員とその家族の期待に応えます。
3. 私たちは、お客様との出会いを大切にし、お客様の視点で考え、お客様に満足いただける快適なサービスを提供します。
4. 私たちは、グループ会社とともに、日々の研鑽により技術・技能を高め、常に品質の向上を図ります。
5. 私たちは、相互に理解を深めるとともに、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる企業づくりを進めます。
6. 私たちは、法令の精神に則り、誠実かつ公正に行動するとともに、企業倫理の向上に努めることにより、地域、社会から信頼される企業となることを目指します。

安全憲章

私たちは、2005年4月25日に発生させた列車事故を決して忘れず、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全の確保こそ最大の使命であるとの決意のもと、安全憲章を定めま

1. 安全の確保は、規程の理解と遵守、執務の厳正および技術・技能の向上にはじまり、不断の努力によって築きあげられる。
2. 安全の確保に最も大切な行動は、基本動作の実行、確認の励行および連絡の徹底である。
3. 安全の確保のためには、組織や職責をこえて一致協力しなければならない。
4. 判断に迷ったときは、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
5. 事故が発生した場合には、併発事故の阻止とお客様の救護がすべてに優先する。

「JR西日本グループ中期経営計画2017」 (2013年3月策定)

中期経営計画のあらまし

経営ビジョンを具体化するため、JR西日本グループの「めざす未来～ありたい姿～」を新たに掲げました。「3つの基本戦略」と「4つの事業戦略」からなる「重点戦略」を実行するとともに、「基盤づくり」を進め、「社会の一員としての責任」を果たし、これからの時代の「新しいJR西日本グループ」の実現に向けて、「次の一歩」を踏み出します。

なお、2015年4月30日に、2年間の振り返り・評価・課題を踏まえた「JR西日本グループ中期経営計画2017進捗状況と今後の重点取り組み（アップデート）」を公表しております。

2013-2017

重点戦略

3つの基本戦略

- 安全 安全考動計画2017
- CS 顧客起点の経営
- 技術 絶え間ない革新



4つの事業戦略

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 新幹線 | 「高める」 | 西日本各エリア | 「活かす」 |
| 近畿エリア | 「磨く」 | 事業創造 | 「伸ばす」 |

基盤づくり

- 技術力の向上
- コミュニケーションの改善
- ヒューマンファクターの理解と活用
- 現場力の向上
- 人材の確保・育成と働きがい
- グループの一体化
- お客様、社会との連携

社会の一員としての責任

- コンプライアンス
- 危機管理
- ディスクロージャー
- 地球環境

これからの時代の 「新しいJR西日本グループの姿」

経営ビジョン

事業活動を通じて西日本地域の活性化に貢献するために、安全マネジメントにおいて卓越し、お客様、地域、社会から信頼される企業グループをめざします。

めざす未来～ありたい姿～

「私たちの使命」を果たします。

「安全」「CS」とそれを支える「技術」にこだわり、鉄道を社会基盤として持続的に運営する使命を果たすとともに、安全で豊かな社会づくりに貢献します。



「地域共生企業」となります。

地域の皆様との交流と連携を深め、JR西日本グループ一体でエリアに即した事業を展開することにより、鉄道の品質を高めるとともに非鉄道事業拡大と新たな事業創造を促進して、地域の活性化に貢献します。

現在

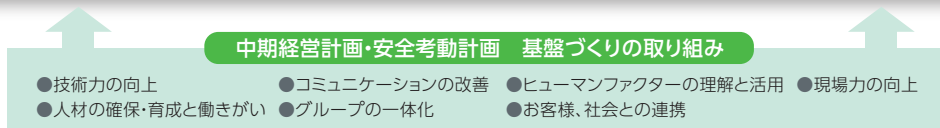
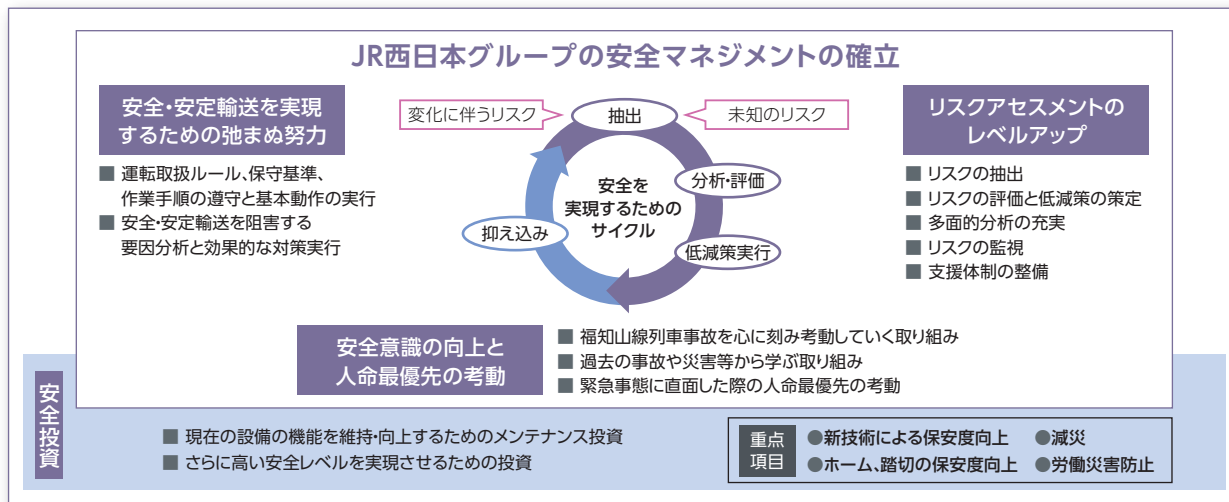
未来

「安全考動計画2017」 (2013年3月策定)

「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない。」これは、JR西日本グループの責務であり、変わらぬ決意です。この決意のもと、JR西日本グループの鉄道サービスをご利用いただくお客様を安全に目的地までご案内するとともに、その業務に携わる誰もが怪我や死亡に至ることがないように、安全のレベルを着実に向上させるために取り組むべき行動を具体化したものが「安全考動計画」です。

この計画では、具体的な数値目標を掲げ、安全性向上に向けて継続して取り組んでいくこととしております。「お客様が死傷する列車事故ゼロ」「死亡に至る鉄道労災ゼロ」を5年間を通じた目標に、「ホームにおける鉄道人身障害事故3割減」「踏切障害事故4割減」「部内原因による輸送障害5割減」を5年後の目標とし、この実現に向けて「安全・安定輸送を実現するための弛まぬ努力」「リスクアセスメントのレベルアップ」「安全意識の向上と人命最優先の考動」「安全投資」の4つの柱に重点的に取り組んでおります。

安全考動計画2017




2017年度までの5年間を通じた目標	お客様が死傷する列車事故 ゼロ	死亡に至る鉄道労災 ゼロ	
2017年度の到達目標	ホームにおける鉄道人身障害事故 3割減	踏切障害事故 4割減	部内原因による輸送障害 5割減

JR西日本グループの概要 (2017年9月30日現在)


当社グループは、当社、子会社153社及び関連会社20社で構成され、その営んでいる主要な事業及び企業集団の概要図は、次のとおりであります。



運輸業

〈鉄道事業〉 ・ 嵯峨野観光鉄道(株) ・ 関西高速鉄道(株)※ ・ 大阪外環状鉄道(株)※	〈旅客自動車運送事業〉 ・ 中国ジェイアールバス(株) ・ 西日本ジェイアールバス(株)	
	〈船舶事業〉 ・ JR西日本宮島フェリー(株)	


流通業

〈百貨店業〉 ・ (株)ジェイアール西日本伊勢丹	・ (株)ジェイアールサービスネット金沢 ・ (株)ジェイアールサービスネット福岡 ・ (株)ジェイアール西日本ファッショングッズ	
〈物販・飲食業〉 ・ (株)ジェイアール西日本デイリーサービスネット ・ (株)ジェイアール西日本フードサービスネット ・ (株)ジェイアールサービスネット広島 ・ (株)ジェイアールサービスネット岡山	〈各種物品等卸売業〉 ・ ジェイアール西日本商事(株) 〈その他流通業〉 ・ JR西日本山陰開発(株)	

不動産業

〈不動産販売・賃貸業〉 ・ 京都駅ビル開発(株) ・ 大阪ターミナルビル(株) ・ JR西日本不動産開発(株) ・ 菱重プロパティーズ(株)	・ 富山ターミナルビル(株) ・ 山陽SC開発(株) ・ 金沢ターミナル開発(株) ・ 神戸SC開発(株) ・ 中国SC開発(株)	
〈ショッピングセンター運営業〉 ・ 天王寺SC開発(株) ・ JR西日本SC開発(株) ・ 京都駅センター(株)	・ (株)和歌山ステーションビルディング ・ (株)新大阪ステーションストア ・ JR西日本大阪開発(株) ・ (株)京都駅観光デパート	

その他

〈ホテル業〉 ・ (株)ジェイアール西日本ホテル開発 ・ (株)ホテルグランヴィア広島 ・ (株)ホテルグランヴィア大阪 ・ (株)ホテルグランヴィア岡山 ・ 和歌山ターミナルビル(株) ・ 三宮ターミナルビル(株)	〈清掃整備事業〉 ・ (株)ジェイアール西日本メンテック ・ (株)ジェイアール西日本広島メンテック ・ (株)ジェイアール西日本金沢メンテック ・ (株)ジェイアール西日本福岡メンテック ・ (株)ジェイアール西日本岡山メンテック ・ (株)ジェイアール西日本福知山メンテック ・ (株)ジェイアール西日本米子メンテック
〈旅行業〉 ・ (株)日本旅行 〈貸自動車業〉 ・ JR西日本レンタカー&リース(株)	〈情報サービス業〉 ・ (株)JR西日本ITソリューションズ ・ 鉄道情報システム(株)※
〈広告業〉 ・ (株)JR西日本コミュニケーションズ 〈車両等設備工事業〉 ・ (株)ジェイアール西日本テクノス ・ (株)ジェイアール西日本新幹線テクノス 〈機械等設備工事業〉 ・ (株)JR西日本テクシア 〈電気工事業〉 ・ 西日本電気テック(株) ・ 西日本電気システム(株)	〈その他〉 ・ (株)ジェイアール西日本リネン ・ (株)ジェイアール西日本総合ビルサービス ・ (株)ジェイアール西日本マルニックス ・ JR西日本フィナンシャルマネジメント(株) ・ (株)JR西日本カスタマーリレーションズ ・ (株)JR西日本交通サービス ・ (株)ジェイアール西日本ウェルネット ・ (株)JR西日本イノベーションズ
〈土木・建築等コンサルタント業〉 ・ ジェイアール西日本コンサルタンツ(株) ・ アジア航測(株)※	

西日本旅客鉄道(株)

(注) ※は、持分法適用関連会社を示しております。

株主様アンケート集計結果のご報告

2017年6月～7月に実施いたしました株主様アンケートにつきまして、多くの株主様にご協力をいただき、心より御礼申し上げます。主な集計結果を以下のとおりご報告申し上げます。

《実施概要》

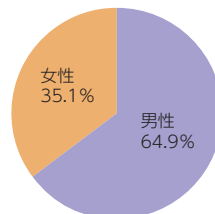
実施期間：2017年6月23日～7月31日(必着)

対象：2017年3月末時点で100株以上保有の株主様

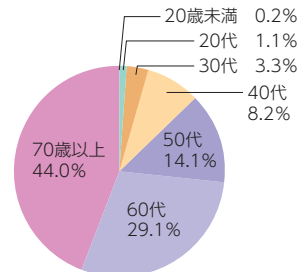
回答数：21,942名

株主様について

●性別

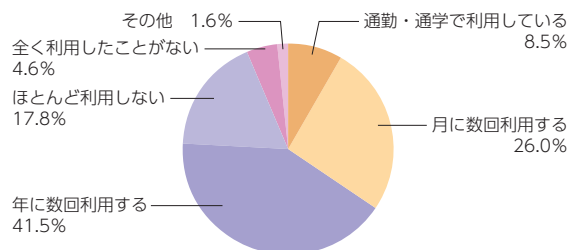


●年齢

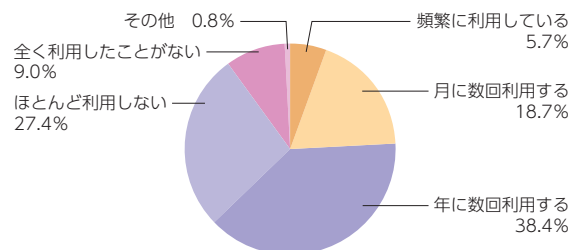


当社のご利用状況について

Q 当社の鉄道をどれくらいご利用になりますか？

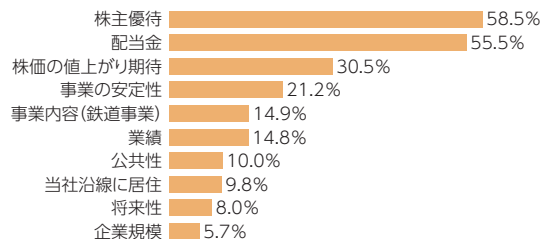


Q 当社関連の商業施設(駅ビル、物販・飲食店舗等)をどれくらいご利用になりますか？

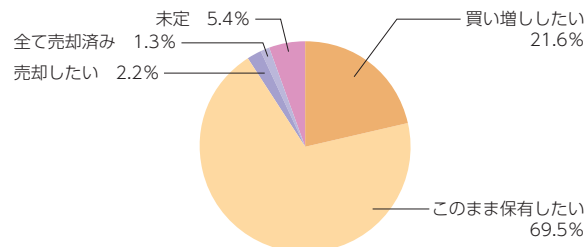


当社株式について

Q 当社株式を取得・保有されている理由は何ですか？(複数回答可)《上位10位まで》

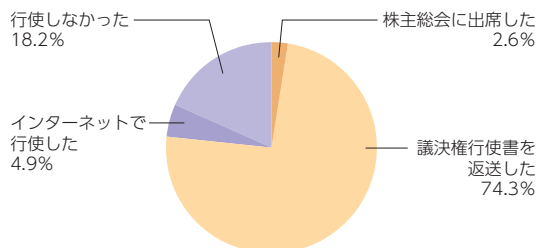


Q 当社株式について、今後どのような方針をお持ちですか？



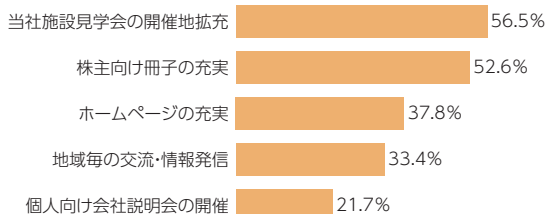
株主総会について

Q 当社の今年の株主総会について、議決権を行使されましたか？



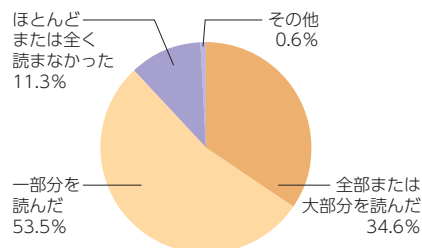
株主の皆様への取り組みについて

Q 今後、株主様への取り組みとして望まれることは何ですか？(複数回答可)《上位5位まで》

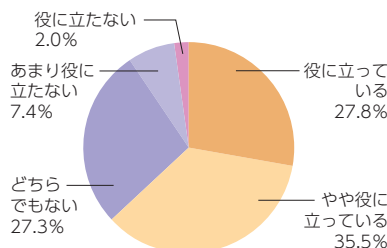


ビジネスレポート等の株主様向け冊子について

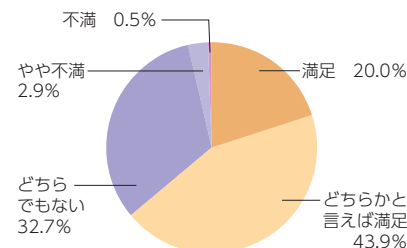
Q 「第30期定時株主総会招集ご通知」をご覧いただけましたか？



Q 議決権行使に役に立っていますか？

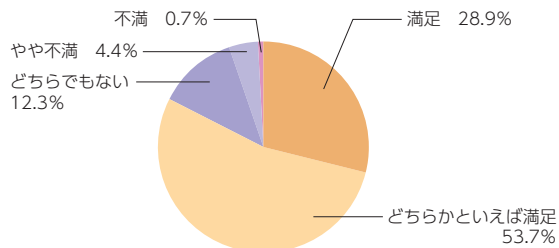


Q 図表等の見易さはいかがですか？



当社について

Q 株主様としての当社の評価をお聞かせください。



【当社の経営に望まれること】の自由記述欄では、「安全への取り組みに一層努力してほしい」など安全に関するお声や、「環境対策、地域活性化にも尽力してほしい」などの経営に関するお声が多数寄せられました。

このほか、株主優待、株主施策などに関し、様々なお声が寄せられました。

ご回答いただきました結果については、株主様に向けた今後の取り組みの参考とさせていただきます。

株主優待制度

毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主の皆様に対し、毎年5月下旬に以下のような「株主優待割引券」(以下「優待券」という。)をご送付いたします。

鉄道優待割引

送付枚数

保有株式数	鉄道優待券(通常発行)	鉄道優待券(追加発行) 1単元(100株)でも3年以上継続保有 追加はございません
100株～299株	100株ごとに1枚	
300株～499株	100株ごとに1枚	1枚追加
500株～999株	100株ごとに1枚	2枚追加
1,000株～1,099株	100株ごとに1枚	3枚追加
1,100株～10,099株	10枚+1,000株超過分 200株ごとに1枚	3枚追加
10,100株～19,999株	55枚+10,000株超過分 300株ごとに1枚	3枚追加
20,000株～	100枚	3枚追加

割引率

- 優待券1枚のご使用で50%割引
- ※2枚以上の同時使用はできません。

割引対象のきっぷ

- 運賃……片道乗車券
- 料金……特急券、急行券、グリーン券及び指定席券
- 1枚の優待券で運賃と料金ともに割引となります。
- ※寝台を利用する場合は、運賃・料金とも割引の対象といたしません。
- ※グランクラスを利用する場合は、運賃のみを割引の対象とし料金は割引の対象といたしません。

割引対象の区間

- 当社の営業路線内とします。

取扱箇所

- 当社の駅とします。
- ※当社係員がいない駅など、一部お取扱いできない駅があります。

京都鉄道博物館優待割引

送付枚数 一律1枚

割引率 50%割引(お一人様1回限り)

JR西日本ホテルズ優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券	レストラン優待券
100株～1,099株	100株ごとに1枚	100株ごとに2枚
1,100株～10,099株	15枚	30枚
10,100株～19,999株	20枚	40枚
20,000株～	25枚	50枚

割引率

- 宿泊優待………1泊1室の基本室料を30%割引
- レストラン優待……5名様までのご飲食料金を10%割引
- ※一部ご利用いただけないレストランがあります。

対象となるホテル

- ホテルグランヴィア京都、ホテルグランヴィア大阪、ホテルグランヴィア和歌山、ホテルグランヴィア岡山、ホテルグランヴィア広島、奈良ホテル、三宮ターミナルホテル、ホテル「ホップイン」アミミング
- ※三宮ターミナルホテルは、2017年12月31日をもって営業終了の予定です。

ヴィアイン優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券
100株～1,099株	100株ごとに1枚
1,100株～10,099株	15枚
10,100株～19,999株	20枚
20,000株～	25枚

割引率

- 1泊1室の基本室料を30%または20%割引

対象となるホテル

- 30%割引…ヴィアイン東京大井町、ヴィアイン秋葉原、ヴィアイン新宿、ヴィアイン東銀座、ヴィアイン浅草、ヴィアイン金沢、ヴィアイン名古屋新幹線口、ヴィアイン京都四条室町、ヴィアイン新大阪、ヴィアイン新大阪ウエスト、ヴィアイン梅田、ヴィアイン心斎橋、ヴィアイン心斎橋長堀通、ヴィアインあべの天王寺、ヴィアイン岡山、ヴィアイン広島、ヴィアイン広島銀山町、ヴィアイン下関
- 20%割引…ヴィアイン姫路

ジェイアール西日本伊勢丹優待割引

送付枚数

保有株式数	お買物	レストラン・喫茶・美容室	写真室、貸衣装	駐車場
100株～499株	100株ごとに3枚	3枚	1枚	6枚
500株～1,099株	100株ごとに3枚	6枚	2枚	12枚
1,100株～10,099株	45枚	6枚	2枚	12枚
10,100株～19,999株	60枚	6枚	2枚	12枚
20,000株～	75枚	6枚	2枚	12枚

割引率

- お買物、レストラン・喫茶、美容室、写真室、貸衣装の各優待…10%割引
- 駐車場優待…お買物による駐車サービス(通常2時間)を1時間延長

対象となる店舗

- ジェイアール京都伊勢丹
- ルック大阪内イセタン各ショップ(お買物優待のみご利用いただけます)
- ※その他店舗及び「スパコ・ジェイアール京都伊勢丹」ではご利用できません。

日本旅行優待割引

送付枚数 一律1枚

割引率(1枚で2名様までご利用可能)

- 国内旅行商品「赤い風船」5%割引
- 海外旅行商品「マッハ」5%割引、「ベストエクセレント」3%割引、「ベスト」3%割引

対象となる店舗

- 日本旅行の直営店舗(一部店舗を除く)

駅レンタカー優待割引

送付枚数 一律3枚

割引率 基本料金の20%割引(1枚で1台の貸渡にご利用いただけます)

対象となる店舗

- JR西日本レンタカー&リースの駅レンタカー各営業所(一部店舗を除く)
- ご利用の際は、事前に予約センター(0088-24-4190)に電話にてご予約ください。

株式に関する事項 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数 800,000,000株

発行済株式の総数 193,735,000株

(注)発行済株式の総数には、自己株式723株を含んでおります。

株主数 139,132名

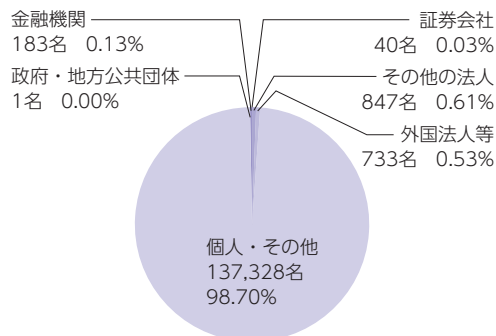
上位10名の株主

株主名	持株数(持株比率)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,657,300株 (4.98%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,549,200 (4.93)
株式会社三井住友銀行	6,400,000 (3.30)
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,300,000 (3.25)
株式会社みずほ銀行	4,600,000 (2.37)
日本生命保険相互会社	4,000,000 (2.06)
JR西日本社員持株会	3,511,500 (1.81)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	3,406,900 (1.76)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,311,800 (1.71)
三井住友信託銀行株式会社	3,200,100 (1.65)

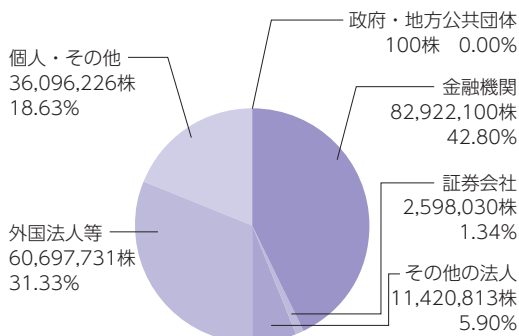
(注)持株比率の算定にあたっては、発行済株式の総数から自己株式723株を除いております。

所有者別分布状況

株主数



所有株式数



(注)「個人・その他」には、自己株式723株を含んでおります。

株主様限定 当社施設見学会のご案内

株主の皆様当社の事業内容へのご理解を一層深めていただけるよう、次のとおり施設見学会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。ライトアップされた機関車庫をご覧くださいなどの、京都鉄道博物館での特別なナイトミュージアムを予定しております。




- 見学場所** 京都鉄道博物館(京都市下京区観喜寺町)
- 開催日時** 2018年3月24日(土)
18:00~20:00頃(予定)
- 募集人数** 同伴者様を含め4,000名様
※株主1名様につき、同伴者3名様まで可。なお、同伴者は株主の方でなくても結構です。
- 対象者** 2017年9月30日現在、当社株式を100株(1単元)以上ご所有の株主様
- 参加費** 無料
※ただし、集合・解散場所までの往復交通費及び宿泊費等は参加者様のご負担でお願いいたします。
※駐車場をご用意しておりませんので、お車での来場はご遠慮ください。
- 応募方法** 同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入の上、お申込みください。
なお、応募多数の場合は、ご所有株式数100株(1単元)につき1口のお申込みとして、抽選させていただきます。
※参加申込はがきには、同伴者の人数について選択いただき、ご連絡先となる電話番号を必ずご記入ください。(お名前・ご住所のご記入は不要です。)
※当社株式を3年以上継続保有されている株主様は、当選倍率の優遇をさせていただきます。

応募締切 2018年1月10日(水) 必着

抽選結果及び詳細のご連絡 抽選結果のご連絡及び参加いただく株主様への詳しいご案内は、2017年9月30日現在の株主名簿に記載されたご住所宛に、2018年2月下旬頃にご送付する予定です。

- その他**
- ご応募に際していただいた個人情報は、施設見学会の実施及び今後の株主様向け活動のためにのみ使用し、他の目的には使用いたしません。
 - 当日、当社にて撮影した写真等は、当社のIR・広報活動等において使用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
 - 諸般の事情により内容が変更または中止となる場合があります。その場合は当選された株主様にご連絡を差しあげます。
 - 当選した権利を他人(ご家族、他の株主様を含む)に譲渡することはできませんのでご了承ください(ネットオークションへの出品を含め、転売目的のご応募は固くお断りいたします)。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めの日
株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
(インターネットホームページURL)	http://www.westjr.co.jp/company/ir/koukoku/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/

株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について

株式に関するお手続き（届出住所、姓名等の変更、配当金の振込方法、振込先の変更、単元未満株式の買取・売渡請求等）のご照会及びお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、以下のいずれかの窓口にご連絡ください。

〈証券会社で口座開設されている株主様〉

当該証券会社にご連絡ください。

〈証券会社で口座を開設されていない株主様〉

三井住友信託銀行にご連絡ください。（下記もご参照ください。）

特別口座について

株券電子化の施行日（2009年1月5日）前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様のご所有株式は、三井住友信託銀行に開設された口座（特別口座）に記録されております。特別口座の詳細につきましては、上記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。

マイナンバー制度のご案内について

株式の税務関係のお手続き（税務署への配当金に関する支払調書の提出など）において、株主様のマイナンバーが必要となりますので、口座のある証券会社にお届出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、上記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。



※この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。